

超・名品展

Beyond *Mei-Hin*: Masterpieces of Japanese Modern Art, 1870s-1970s

2020年4月11日(土)～6月7日(日)



和田三造《南風》1907年 油彩・キャンパス 東京国立近代美術館蔵 重要文化財

令和2(2020)年は、当館の前身である県立近代美術館が開館して50年目にあたります。本展はこれを記念して開催するものです。

開館以来の50年。この間、日本全国のみならず世界規模で見ても、美術の概念や社会における美術に対する期待のあり方は大きく変わりました。その中で、新たに発見・発掘された名品、解釈がかわることで新たな魅力が付与された名品があり、一方、オーラの幾分か減少することで評価の核心が見えにくくなった名品の存在があります。また、全国各地で美術館・博物館建設が進み、それらの施設が地域とのかかわりを探る中で、地域ならではの価値が見出されて名品となった作品もあることでしょう。

本展は、そのような作品の評価の変遷や、受容のされ方、あるいは作者と作品への関心が遠のくさまにも注目しながら、名品とは何か、何であったのか、そして美術館および観覧者にとって、どのような可能性を持ちうるのかを探ろうとするものです。

関連イベント

■記念講演会

①「名作の条件」

講師：北澤憲昭氏(美術評論家、美術史家)

日時：5月6日(水・振休) 14時より(約90分)

②「近代美術館を振り返り、県立美術館に期待する」

講師：山野英嗣氏(和歌山県立近代美術館長)

日時：5月10日(日) 14時より(約90分)

いずれも、ミュージアムホールにて(定員250名)、聴講無料

※兵庫県立美術館「芸術の館」友の会会員優先席あり

■学芸員によるレクチャー

日時：5月2日(土)、5月16日(土) 16時より(約60分)

場所：当館レクチャールーム(定員100名)

※聴講無料

■学芸員によるガイドツアー

日時：4月18日(土)、5月9日(土)、5月30日(土) 16時より(約50分)

場所：企画展示室

※聴講無料、要観覧券、企画展示室入口付近集合

■こどものイベント「アタマにかぶってるもの、なあに？」

日時：4月25日(土) 13:30～15:30

場所：アトリエ2および企画展示室

※要事前申込、詳細は巻末の「こどものイベント」欄をご覧ください。

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 午前11時より(約15分)

レクチャールームにて(定員100名)、聴講無料

(※)新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館時間、

各イベントなどの日程は変更する場合がございます。

最新の情報や詳しい情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

観覧料

一般1,300(1,100)円、大学生900(700)円、高校生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

[高齢者・障がい者割引] 70歳以上650(550)円、

障がい者・一般300(250)円、障がい者・大学生200(150)円

※()内は20名以上の団体料金

※一般以外の料金には証明できるものの提示が必要です

※障がいのある方1名につき、介護の方1名無料